

読むビタミン

地域に根ざす工務店

・リフォーム店を元気にするビタミンです。

2020年3月号

今月のひと言

「Y-T-T」は、横に置いておいて…

今度は何がはやるのかなあ、少し先のトレンドなどを探るのに簡単な方法の一つに「Y-T-T」がありますね。

因果関係の視点とも言えますが、要は基本を今に置いて、

Y=YesterdayからT=Todayを見て、その流れに沿ってT=TOMORROW
という答えにたどり着くやり方です。

でも、これはふだんから誰もがやっている思考パターンとも言え、結果としてどうしても「モノ真似」になりやすく同質競争になり、結局価格競争に。これはモノや情報が不足気味の時代の、キャッチアップのやり方。いまは真逆の時代と環境ですよね。

そこでやり方も違ってきて当たり前。

では、どんなやり方がいいの?

まず自分としては「こんなものが欲しい」「こんなものがあったら、いいな」と思うこと。それが実際に世の中になかったら、「じゃ、俺が作ってみようか」と自作自演すること。

つまり自分の欲しいTOMORROWがあれば、Todayがこんなに快適に、楽しく、素敵になるんだ!

この順で考え、やることなんでしょうね。

具体的に例えるなら、あなたがドラえもんになること。

不易流行

いつの時代も変わらないこと——「顔に出る」

野球の国際大会「プレミア12」での山崎康晃(DeNA)の投げっぷりをみて、思い出したのが、メジャーで抑えを務めていたころの上原浩治の顔だった。

140キロに達するかどうか、という直球とフォークだけで、相手を牛耳った上原。抑えられる秘密は大きな目をひんむいて投げる威圧感にある、と書いたことがある。

山崎も、打てるものなら打つてみろ、というオーラを出していた。球自体、シーズン中と変わったわけではない。ストライクをほしがったり、かわそうとしたりする気持ち

悠悠球論 権藤 博

がちょっとでもみえたら、打たれていたかもしれない。

しかし、今回の山崎は、打者に対して、実にいい「向かい方」をしていた。「流投手ともなれば、誰でもそこそ

この球を投げる。どこで差が出て、バットを強く振る

出るか」というと、戦う気持ちは。気持ちは顔に出る。山崎も顔で投げる上原に一步近づいた、というところだろう。

投打の要見えてきた「顔」

出るか」というと、戦う気持ちは。気持ちは顔に出る。山崎も顔で投げる上原に一步近づいた、というところだろう。

BC)ではまだ、代表のなかで遠慮があつたらしく、自分とのスイングをしきれない面があり方」をしていた。「流投手とともなれば、誰でもそこそこのスイング・ザ・バット」と、とにかくシンプルに考えて、バットを強く振る

よう。ようやく激励したことがあったが、今や堂々たるものだ。

「生涯投手コーチ」である私にとって、この一点だけ見れば相手打者がわかる、とい

う。もう一人、いい顔をしてい

たのが、4番の鈴木誠也(広島)だ。2年前のワールド・きの顔だ。状態のいい打者は

ファウルしたときに「よし、あとボール半分甘くなれば、柵越えだ」という前向きの反応が顔に出る。投手としてこ

れほど不気味なことはない。

反対に、調子の悪い打者は

「やれやれ、三振だけは免れた」といった後ろ向きの表情

が出る。見逃してもファウル

をしても、自信に満ちあふれ

ていた鈴木は代表の命運を託せる打者になった。

故障などのアクシデントがなければ、2人は来年の五輪

の投打の要となる。その2人

が今回の顔をみせてくれた

が、日本はいい戦いができる。

(野球評論家)

TEAM会援隊の広告です。

広告宣伝が嫌いな会社さま、苦手な会社さまへ。 OB施主や近隣エリアの方々から選ばれ必要とされ、結果受注に結び付くコミュニケーションツール「定期情報誌」をご活用になりませんか？

▼DM用挨拶状付き(A4片面)

ホワイトデー、まずは「見た目」でインパクトを。

拝啓
いつもながらご愛顧、お引き立てをいただき、誠にありがとうございます。
今月も生活提案情報誌「物を大切にしよう新聞」の最新号(2020年3月号)が出来上がりました。
さてバレンタインのお返し。ターゲットは女性なので、やはり品選びの第一候補は女性が大好きな「チョコレート」からアプローチ。
いまはネットでいろいろ商品がみられ、とにかく見た目で選んでみてはいかがでしょうか。ポイントは「華」があること。
ひとつはまさしく「花」。
箱を開けるとスイートな薔薇がいくつも散りばめられており、

高齢者が増えている現代社会において、
フレイルに早く気付き、正しく予防することが大切。
目的は「健康寿命を延ばす」

介護予防のキーワード「フレイル」

フレイルとは、「加齢により心身が老い衰えた状態」ことで、健常から要介護に移行する中間の段階と言われています。具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい貧弱全般を指しています。高齢者のフレイルは、生活の質を落とすだけでなく、さまざまな合併症も引き起こす危険があります。

バランスよく食べ、「低栄養」を防ぎましょう。
特に高齢者の場合、やせすぎには注意を。それは死に率を高めるリスクがあるから。

なによりも「口腔機能」をしっかりとキープ!
それには「歯周病にならない!+「噛む力を保つ」+「飲み込む力を保つ」ことから。

味みごたえのある食品を積極的にとり、噛む力を鍛えましょう
食べこぼし、むせ、舌の下などは、口腔機能の弱い衰え。これは「オーラルフレイル」の始まり。

正しいブラッシングを行い、定期的に検診を受けて歯周病を防ぎましょう
舌や頬、口周りの運動を意識してまいりましょう

▲A3両面

MONOWO TAISETSUNI SIYOU SHINBUN
「物」の先には「事」がある。事の先には「つながり」がある。
あり余っているから、すぐお金で買えるから、いつでもどこでも捨てられるから。
そんな社会上暮らしながら、本当に望んだものなのか、快適なののか。
疑問が、それには、きちんとしていく、わかりやすくして一流的の物差しがいる。
その物差しは、風土と季節、文化的、伝統的の差し。
みんなに共通で、しかも変わることがないから、日本人なら毎日の生活中で使いこなせるから。

大切にしよう新聞

2020.3 MARCH

御朱印

多くの寺社を周って御朱印を集めるのは女性が多いため、彼女らを「御朱印ガール」と呼ぶほど、ブームになっている

全国の神社・お寺人気ランキング2019から

三輪神社 愛知県名古屋市中区大須3-9-32
御祭神の大物主神は大国主神と同一と言われ、神話「因幡の白兎」で有名なうさぎの石造を設けています。このうさぎは神様のお使いであり、うさぎはとても縁起のいい動物と昔から言い伝えられ、びよんびよん跳ねることから運気を上げ、また長い耳は福を集めるとされています。

サンプル
さしあげます。
お電話ください。
090-2745-7935
早川まで

この「物を大切にしよう新聞」は、約20年前、世の中にわかつて“リフォーム”が騒がれた時から、会援隊が毎月発刊し続けてきた定期情報誌です。[リフォーム=物を大切にすること]と定義付けし、その想いをダイレクトにタイトルとしました。売込み情報を一切排除し、常に身近な存在であることとお客様との良好なコミュニケーションを継続し続けるためのツールです。

データを配信しますので、ダウンロードしてご活用頂くのですが、PDF、イラレの他に、Excelもご用意しておりますので、自社情報掲載のカスタマイズも簡単にできます。詳細はWEBにてご確認ください。

自社の想いと強みでできることはまだある。それはリノベーションや大規模リフォームだ！

リノベーション受注のアイディア

アイディアの1 商品をつくる・前編

さて今回より大規模リフォームを受注するための具体的なアイディアをご紹介させて頂きます。
第1回目は“商品をつくる”です。

●自社の強みを活かした商品を考える

例えばですが、エクステリアの対応もできるという強みを持つ工務店やリフォーム店であれば「庭と繋がるリビング」という提案商品ができるし、マンション対応が得意であれば「生きがいを叶えるマンション」、バリアフリー・介護対応が得意であれば「ずっと元気に暮らす終の住まい」なんてできますね。もう少し、詳しくお話ししましょう。

■庭と繋がるリビング

庭、エクステリアリフォームと住まいのリフォーム、どうも分けて考えるのはつくり手側の発想のような気がしてなりません。でも、リビング→ガーデンルーム（ウッドデッキ）→お庭→目隠しフェンスとプライバシーを守りながらも庭を眺めたり、使ったりは誰もが欲しがる空間で、休日の豊かな暮らし方として提案できます。



懐かしい和の提案も、おしゃれなガーデニングもあります。競争が厳しいキッチンの交換リフォームで、100万～150万、という話ではなく、これら300万、500万の提案になりますよね。僕としては、だからこそメーカーさんの応援を得ればワンストップで提案できると思っているのですが。

■生きがいを叶えるマンション

マンションリフォームの面白い可能性は間仕切りを無くして大空間がつくれることでしょう。しかし、その大空間でどんな暮らし方ができるのか？その提案をしているところはまだまだ少ないように思います。それはなぜか？つくり手側がターゲットを設定していないからです。若い時の趣味の絵や音楽等を目一杯楽しみたいシニア層へは、「アトリエマンション」とか「スタジオマンション」など、タイトルだけで興味を持つようなアプローチを考えてください。



つまりは、ターゲットの趣味や生きがいを叶えるための具体的な提案をすることです。

■ずっと元気に暮らす終の住まい

間違えてはいけないコトは、手摺、段差解消などのバリアフリーや介護のことやヒートショック対策のための断熱性の話しから入らないことです。ここは元気なシニア（お金を使ってくれる層）にとっては積極的に聴きたくない話です。やはり、まだまだ元気なので生きがいを持って暮らしたい！というプラ

ス思考を応援してあげて欲しいのです。

納戸をちょっとした趣味の部屋に、とかお茶やお花の教室ができるとか、そんな空間提案です。そのワクワク提案を先に大きく見せて、プラスして老後の安全と自立のための性能改善やバリアフリーの提案をするという流れです。



※空間提案：設計考房／田中中心吾 イラスト：古味ゆい

このようにイラストで見て頂くと、僕がお伝えしたいことが何となく伝わるかと思います。こんなプラン、いろいろ考えるのも楽しくないですか？

ポイントはワクワク感とターゲティング。だから、思い浮かべたターゲットが喜ぶ姿を想像し、ワクワクしながら考えてみてください。

※商品開発に興味があるけどどうやってやるのか？そんな方は一度ご相談ください。できる範囲でのアドバイスはいたしますので。

今回はここまで。次回は考えた商品のプランをどう表現するか、どんなツールにするのか、どう告知していくか？を解説いたします。どうぞお楽しみに！

工務店さんがいるところなら...
日本全国東奔西走どこへでも!
呑んで騒いで時折仕事。



大田区で東北大震災の復興ボランティアをやり続けている音楽仲間の仙さん。
頑固な大工でおいらの大切な仲間。今回のフェスタにも応援に駆けつけてくれた。

渡り旅日記



七十九合目 最高の誕生日だったぜい!

2月8日(土)この日はおいらの63回目の誕生日でありました。

で、横浜は地元金沢区の金沢公会堂(キャパ600名)にて「金沢Beat Beeおやじバンドフェスタ」という音楽イベントが開催されたのです。このイベント、もともと金沢区が主催していたのですが、区にお金がなくて民間運営となり、おいらの仲間が引き継ぎました。この運営の段取りが、販促にも役立つことなので、この場を借りて少し解説したいと思います。

1: バンド募集

まずは演者となるバンド募集のチラシを作成します。そのチラシを区内の地区センターやケアプラなどへ配布。町内会への応援要請とチラシの配布。茶店や音楽スタジオなどいくつかのお店に置かしてもらう。そして、地域メディアを活用し、告知や取材の依頼。ボランティア活動のため、広告宣伝費もかけられないで、このようなゲリラ戦での募集をします。でもこのようなゲリラ戦、実は効果が高く、狭いエリアであるにも関わらず20バンドくらいの応募が来るので。で、その中から8バンドを選出。僕ら委員会は毎年運営するだけなのですが、たまには演者にもなりたいね、ということで委員会で2バンド参加することにしました。



▲昨年建て替えられた金沢公会堂 こけら落としでは地元の小田和正さんも応援に駆けつけた

2: 参加バンドの審査

応募された音源を委員会で聴き比べ、参加してもらうバンドを選びます。ミソは演奏が上手いバンドのみならず、一生懸命さや何か伝わるものがあるバンドも選出することです！

3: 告 知

いよいよイベントの告知です。新たにチラシをつくり、バンド募集と同じ要領で告知をします。まあ、一手間も二手間もかかるけど、お金がかけられないですから、スタッフ皆の足を使っての告知です。

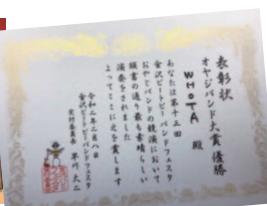
4: イベント当日

運営はそれなり大変でした。満席にはならなかったものの、7割近く席は埋まりました。当日はスタッフ以外にも応援ボランティアの力も借りてなんとか無事に終了しました。がしかし、いつもいくつかの課題が残ります。

販促にも役立つ、と書きましたが、ここで伝えたいポイントは2つ。

1／地域を巻き込み、地域メディアを使うと告知効果が高い

2／PDCAを回し続け改善すると成果とノウハウがついてくる



▲バンド募集チラシ



▲告知チラシ

最後に。当日の審査は、元劇団四季のミュージカル女優さんにお願いしたのですが、なんと僕らのバンドが優勝しちゃいました。エヘン！おかげさまで最高の誕生日となりました！